土いじり

有田菊のり修業に思う

今井田

道子

（新潟大学）
土の塊りを手前に引き上げながら回転させる。片手で回し込むように押えつけ、もう一方の手で巻き上げる。手の位置を少しずらして同じ動作を繰り返すと、菊の花びらのような形になっています。

「菊もみ」と呼ばれるのはそのためで、荒練りの後に素地の空気を抜き、粘性を増すために行なうのである。

今しごた、せんまい仕掛けの玩具のようにリズミカルに回転していた同じ土が、しっかりときっちりと動かない。カーテンを引いてみると左右にペタペタと延びてしまう。あわててはみ出した土を畳込みますとごたごたしていstdout.